

1 単元名 「故郷」を読んで、登場人物の生き方や考え方を批評しよう

2 本単元の目標

- (1) 話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 (知識及び技能)
 (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 (思考力, 判断力, 表現力等)
 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力, 人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①本文の内容と登場人物の特徴について理解を深めることができている。	思①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	態①交流活動での人物像の読みの深まりを基に、進んで登場人物の生き方について批評しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本教材は、20年ぶりに帰郷した主人公が変わり果てた故郷の様子や人々との再会を通して、現実の社会を見つめ直し、新しい生活への希望を見いだしていくという内容の文学的な文章である。巧みな人物かつ心理描写と場面展開によりそれぞれの登場人物の生き方や考え方が細やかに描き出されている。そのため、文章を批判的に読みながら、登場人物の生き方や考え方を踏まえて、人物評を文章にまとめることに適した教材であると考えられる。

(2) 生徒観

1学期に実施した文学的な文章である「百科事典少女」(令和2年7月実施, 第3学年*組*人)の授業において、「登場人物の生き方や考え方を通して自分は何を考えたか」という発問での記述を分析してみると、登場人物の生き方や考え方を踏まえて、自分の考えを示すことができた生徒は*人、自分の考えを示すことができなかった生徒が*人、さらに、登場人物の生き方や考え方が捉えられない上に、自分の考えを示すことができなかった生徒が*人という実態であった。このことから、生徒の実態として、登場人物の人物像の根拠となる表現や描写を見付け、人物像を読み取ることが難しいことが明らかとなった。そのため、文学的な文章において登場人物の人物像を捉え、生き方や考え方を踏まえて、自分の考えを文章にまとめることで自分の考えを広げたり深めたりするための授業展開が課題であると考えた。以上のことから、登場人物と自分との考え方の違いに着目して文章を批判的に読みながら、自分の考えを広げたり深めたりする力を育む学習指導を行う必要があると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、中学校第3学年「故郷」の学習において、登場人物の生き方や考え方を踏まえて、自分の考えを広げたり深めたりするために、根拠となる表現や描写を基に人物像を視覚化し、登場人物についての考えを交流させる活動を設定する。はじめに、主人公の心情や心境の根拠となる表現を見付け、根拠となる表現や描写と結び付けて主人公の心情や心境を考える。次に、その他の登場人物について発言・態度・動作・表情等を手がかりに、人物像を考える。さらに、文脈に即して登場人物の考え方や生き方について考えたことを文章にまとめる。ここでは、ツリー図を用い、登場人物の特徴となる表現から浮かび上がる人物像を視覚的に理解するようにする。最後に、視覚化した人物像を文章化し、登場人物の人物像を言葉で説明するための交流活動を行う。そして、交流活動での読みの深まりを基に登場人物の考え方や生き方を踏まえて、全ての登場人物の人物評を文章にまとめる。このように、根拠に基づいて人物を視覚的に捉えた上で、交流活動により登場人物の考え方や生き方を踏まえて、人物評を文章にまとめることで、文章を批判的に読んで、自分の考えを広げたり深めたりする力が身に付くであろうと考える。

5 単元の指導計画（7時間扱い）

○は指導に生かす評価 ◎は記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 本単元での学習の見通しをもつ。 「故郷」を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 課題 「故郷」の内容と主な登場人物の特徴を捉えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「故郷」のストーリーを捉える。(誰が、どうするか) 登場人物を確認し、主な登場人物の特徴を簡単に捉える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ ◆内容→主人公が故郷に帰郷する内容 ◆主な登場人物→【主人公「私」/ルントー/ヤンおばさん】 </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 				◎	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の人物像を考え、それぞれの生き方や考え方を踏まえて、人物評をまとめ、作品の主題を考える学習であることを確認する。 作品の展開上で印象的な人物を主な登場人物として着目できるよう促す。 登場人物の特徴を捉えるために、登場人物の発言や行動、描写に注目するようにする。 <p>知①【ワークシート】</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開の仕方について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 課題 根拠となる表現を基に、主人公「私」の心情や心境を考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「心情」と「心境」の意味の違いについて確認する。 場面の展開に注意して、個人で主人公の心情や心境の根拠となる表現や描写を見付ける。 根拠となる表現や描写と結び付けて主人公の心情や心境を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ (例) 【回想の場面】→○○などの表現(描写)から～という心情(心境)が考えられる。 【現在(帰郷・再会・離郷)の場面】→○○などの表現(描写)から～という心情(心境)が考えられる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 				○	<ul style="list-style-type: none"> 回想と現在の場面構成からなることと「私」の心情(心境)を考える学習であることを確認する。 「心境」(その時の心の状態、気持ち)「心情」(心の中にある思いや感情)の言葉の意味に留意する。 「私」の発言(心内文も含む)、態度、動作、表情等の表現や描写に着目するように促す。 教科書中の見付け出した表現に線を引いたり囲んだりして着目できるようにする。 <p>思①: 主人公「私」の心情や心境についての考えを見取り、できていない生徒には根拠となる表現と心情と心境を結び付けられるようヒントカードを使って考えられるようにする。【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次時は、本時でまとめた「私」の心情や心境を基に、「私」の人物像について考えを話し合う時間であることを伝える。
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 課題 主人公「私」の人物像についての考えを話し合い、生き方や考え方について考えをまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 前時でまとめた「私」についての情報を確認し、整理する。 グループで「私」の人物像(性格や特徴)について、なぜ自分はそう考えたか考えを交流する。 「私」の生き方や考え方について考えた 					<ul style="list-style-type: none"> 人物像とはどのようなものかについて確認する。 付箋紙に自分が考えた人物像を書き出し、その理由を述べ合うことで各自の考えを共有できるようにする。 登場人物の生き方や考え方について自分はどうか考えるかという視点に結び付けて読むことが批判的な読み方であることを気付くようにする。 自分と「私」の生き方や考え方を比べ

		<p>ことを120字以内で文章にまとめる。</p> <p>まとめ(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私」の人物像について、○○という表現から～という人物像が浮かび上がる。 →「私」の生き方や考え方について、自分は□□□と考える。 <p>・本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>			<p>てまとめられるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方を例示することで、考えをまとめやすいようにする。 <p>思①：自分の考えを文章にまとめられていない生徒には、友人と交流することで自分の考えをもつことができるようにする。【ワークシート】</p>
2	4	<p>・登場人物である「ルントー」と「ヤンおばさん」に着目する。</p> <p>課題 「ルントー」と「ヤンおばさん」の人物像について、ツリー図を使って整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツリー図の使い方について確認する。 ・ツリー図に登場人物の特徴となる表現をまとめる。 ・「ルントー」と「ヤンおばさん」の人物像について考えをまとめる。 ・「ルントー」と「ヤンおばさん」の生き方や考え方について考えたことを120字程度で文章にまとめる。 <p>まとめ(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・△△の人物像について、○○という表現から～という人物像が浮かび上がる。 →△△の生き方や考え方について、自分は□□と考える。 <p>・本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・「ルントー」と「ヤンおばさん」が作品中の「私」との関わりの中で、どのような役割を果たしているかを考えられるよう促す。 ・「ルントー」と「ヤンおばさん」の発言、態度、動作、表情等に注目するよう促す。 ・見付け出した表現に線を引いたり、囲んだりして着目できるようにする。 ・自分と「ルントー」と「ヤンおばさん」の生き方や考え方を比べてまとめられるように助言する。 ・まとめ方を例示することで、考えをまとめやすいようにする。 <p>思①：ツリー図にまとめた「ルントー」と「ヤンおばさん」の人物像についての考えを見取り、まとめられていない生徒には人物の性格を表す単語をいくつか例示し、2人の人物像を考えられるようにする。【ツリー図の記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は、全ての登場人物の人物像について考えを話合う時間であることを伝える。
	5	<p>目標：登場人物の人物像についての考えを交流し、自分の考えを広げることができる。</p> <p>1 学習課題を知る。</p> <p>課題 登場人物の人物像について話し合い、考えをまとめよう。</p> <p>2 登場人物の人物像についての考えを交流する。</p> <p>3 交流活動で気付いたことを参考に、それぞれの人物像について自分の考えをまとめ直す。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像についての考えを友人と交流し、自分の考えを広げる学習であることを確認する。 ・登場人物についての自分の考えを前時までのワークシートで確認する。 ・登場人物について浮かび上がる人物像とその根拠を情報端末(ミライシード)に書き入れるようにする。 ・挙げている根拠に注目して人物像の交流を図るようにする。 ・交流活動を通して気付いたことを、ミライシードにコメントしたり、メモしたりするよう促す。

		<p>まとめ (例) △△の人物像について、自分は～と考えていたが、○○さんの考えを聞き、～と考えた。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方を例示することで、考えをまとめやすいようにする。 ・自分の考えの広まりについて振り返りができるよう促す。 <p>思①:それぞれの登場人物についての考えを見取り、考えをまとめられていない生徒には交流活動で気付いたことを中心に自分の考えをまとめられるように助言する。【ワークシート】</p>
3	6	<p>目標：登場人物の生き方や考え方を踏まえて、人物評をまとめることができる。</p> <p>1 学習課題を知る。</p> <p>課題 登場人物の生き方や考え方を踏まえて、人物評（登場人物の批評）を文章にまとめよう。</p> <p>2 「批評」と「人物評」（登場人物の批評）の意味を確認する。</p> <p>3 それぞれの登場人物「私・ルントー・ヤンおばさん」の生き方や考え方を踏まえて、人物評を文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物ごとに、自分はどうか考えるか（＝人物評）を文章にまとめる。 ・120字以内でまとめる。 <p>まとめ (例) △△の生き方や考え方について、自分は○○と考える。それは、□□□からだ。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の生き方や考え方を踏まえて、人物評を文章にまとめる学習であることを確認する。 ・「批評」とは、自分の言葉で、あるもののよさや価値について評価して論じる意味であることを確認する。 ・前時でまとめた全ての登場人物についての自分の考えを再確認する。 ・人物評をまとめる際に、書き方を例示し、自分の考えとその理由という構成で文章をまとめるよう促す。 ・理由については、1つに限らず複数の視点でまとめられるように助言する。 <p>◎ 態①【ワークシート、観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は、書き上げた人物評を読み合い、作品の主題について考える時間であることを伝える。
	7	<p>課題 人物評を読み合い、作品の主題について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの登場人物についてまとめた人物評を読み合う。 ・交流活動を通して気付いたことを、自分がまとめた人物評に加筆する。 ・加除訂正した人物評を踏まえて、個人で作品の主題（テーマ）について考える。 ・単元全体の振り返りをする。 <p>まとめ (例) 「故郷」の主題は、○○○と考える。 振り返り 人物評をまとめる活動を通して、自分の考えを広げることができた。</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・各自がまとめた人物評を交流し、作品の主題について考えることを確認し、学習の見通しをもてるよう促す。 ・登場人物についてまとめた人物評をミライシードに取り入れるようにする。 ・交流活動を通して気付いたことを、ミライシード上でコメントしたり、メモしたりするよう促す。 ・主題を考えられていない生徒には、まとめ方を例示する。 ・単元全体を通しての振り返りができるようにする。 <p>思①:【ワークシート、振り返りシート】</p>